

地域少子化対策重点推進交付金事業  
若者の結婚に関する意識調査 及び  
若者の結婚支援に関する  
企業・団体等の取組状況等調査  
報 告 書

平成29年9月

一般財団法人会津若松市勤労者福祉サービスセンター

# 目 次

- 若者の結婚に関する意識調査（聞き取り調査）報告書 . . . . . 1
  
- 若者の結婚に関する意識アンケート調査 報告書 . . . . . 4
  
- 若者の結婚支援に関する企業・団体等の取組状況等調査 報告書 . . 10

若者の結婚に関する意識調査（聞き取り調査）

報 告 書

## 若者の結婚に関する意識調査（聞き取り調査）報告書

- 【調査概要】 1. 本調査事業を実施するための実行委員会を組織し、実行委員は35歳以下の未婚の方を対象とした。実行委員の状況は次のとおり。

	男性	女性	計
20歳台	2	7	9
30歳台	4	3	7
計	6	10	16

調査においては、実行委員を4名ずつ4グループに分け実施した。

2. 本調査への協力者としては、未婚か既婚であるかを問わず、35歳以下の方または36歳以上でも若者の結婚について意見を述べていただける方を対象として募集した。協力者の状況は以下のとおり。

	未婚男性	未婚女性	既婚男性	既婚女性	計
20歳台	9	6	1	1	17
30歳台	1	1	4	1	7
40歳台	0	0	1	0	1
計	10	7	6	2	25
	未婚計	17	既婚計	8	
	男性計	16	女性計	9	

3. 上記1項の実行委員及び2項の協力者の参加により意識調査を実施した。意識調査参加者の状況は以下のとおり。

	未婚男性	未婚女性	既婚男性	既婚女性	計
20歳台	11	13	1	1	26
30歳台	5	4	4	1	14
40歳台	0	0	1	0	1
計	16	17	6	2	41
	未婚計	33	既婚計	8	
	男性計	22	女性計	19	

4. 意識調査の実施状況は以下のとおり。

日時：平成29年8月22日（火）18：30～20：00＜第1及び第3グループ＞  
 8月30日（水）18：30～20：00＜第2及び第4グループ＞  
 会場：会津若松ワシントンホテル

【調査結果】 意識調査（聞き取り調査）の中で出された主な意見等については、以下のとおりである。

Q <あなたは、ご自身の結婚についてどのようにお考えですか>

- 「結婚したいか」という問いに対しては、未婚者のほとんどが「結婚したい」という意識であった。しかし、「できれば結婚したい」という消極的な意見もあった。
- 30歳台の女性では、経済的な余裕ができたことや自由な時間が持てること等を理由に、「結婚しなくてもいい」と思い始めているとの意見が目立った。
- 結婚したい理由としては、「同じような考えの人と生活していきたい」「子供がほしい」「一人であることが寂しい」「好きな人と一緒に乗り越えていきたい」といった意見があった。また、「周り（同級生や友人等）が結婚（出産）したことで焦る」「世間体が気になる」「親戚の目が気になる」といった周囲を気にする意見も多かった。
- 年齢的には、20歳台後半から35歳くらいまでには結婚したいという意見が多い。

Q <結婚相手に望むことは何ですか>

- 結婚相手に望むこととしては、「一緒にいて楽しい」「価値観が合う」「一緒にいて気をつかわない」といった意見が目立った。
- その他の意見としては、「育児の協力的」「真剣に話を聞いてくれる」「マイナス面を受け止めてあげられる」「うまくリードしてくれる」「頭が悪くない」「礼儀作法や身だしなみ（清潔感）」「隠しごとをしない」「趣味が合う」といった様々な意見が出された。
- 喫煙やギャンブルに対しては望ましくないという意見が多く、飲酒については飲酒する・飲酒しないと双方の意見があった。

Q <結婚生活を送っていく上で不安に思っていることは何ですか>

- 「自分の自由時間がとれなくなる」という意見が多く聞かれた。また「結婚後に相手（の態度等）が変わってしまわないか不安」といった意見もあった。収入面や仕事面等の「経済的不安」を考える方も多かった。
- 「親との同居」に不安を持つ意見も多かった。全体的には、「親とは同居したくない」という意見が圧倒的に多かった。
- 経済的な不安や保育所等の不足といった問題を中心に「育児に対する不安」もあった。

Q <出会うの機会はありますか>

- 未婚者からは「出会うの機会がない・少ない」という意見が圧倒的に多かった。このため、会津若松市に対しても「出会うの機会を作ってほしい」という意見が寄せられた。
- 上記のとおり出会うの機会を求める意見が多かったが、次のような具体的な要望があった。
  - ・同じ趣味の人が集まる合コン
  - ・テーマ設定のある合コン
  - ・真剣すぎる婚活イベントは参加しにくい
  - ・土日が仕事のため、平日にも開催してほしい
  - ・企業等のバックアップをもらい、気軽に参加できるランチパーティーに仕事として参加
  - ・お友達を作る感覚のイベント
  - ・別の職業の人と交流するイベント
  - ・同窓会等の小さいコミュニティーから広げていく
  - ・街コンのようなイベントには、人が集まっていないように思う

Q <会津若松市の成婚数増加に向けて効果的と思われる取組、支援制度は？>

- 参加者からは、以下の意見が出された。
  - ・保育所の充実
  - ・住居の費用に関する支援制度
  - ・社会人同士が出会える場を増やしてほしい
  - ・結婚後の経済的支援
  - ・出会いのためのイベントを増やしてほしい
  - ・遊びに行く場所や若い人が集まる場所を増やしてほしい
  - ・同じ趣味の人が活動できる場所がほしい
  - ・山コン等のイベント
  - ・子供を遊ばせる場所（無料）が必要だと思う
  - ・映画館等のレジャー施設
  - ・祝金の支給や保育所の無料化
  - ・育休や連続休暇が取りやすい環境整備

【 実行委員の感想等 】 実行委員として意識調査（聞き取り調査）運営にあたった皆さんから、以下のとおり感想等をいただいた。

- 実行委員として本調査に参加しての感想
  - ・有効だと思える支援制度の提案があった
  - ・結婚したい、出会うたいという思いがあっても出会うの場所が少ない印象があった
  - ・自分の意見とは全然違う意見があってもおもしろかった
  - ・子育てについて誤解に基づく情報で結婚が遠のいている可能性があると思った
  - ・出会いが少ないという意見が多いが、未婚者は積極的に動いていないと思った
  - ・未婚者は経済的な不安や自分の時間が少なくなるといった不安があるが、既婚者はシンプルな考えで結婚していることが印象に残った
  - ・情報はたくさんあるが調べていない印象があった
  - ・出会いの場が少ないという意見に納得した
    - ・テーマの設定があるイベント、同じ趣味の方を対象にしたイベントが良いと思った
  - ・気軽に参加できるイベントが良いと思った
  - ・参加しやすいイベントの機会を設けることが良いと思った
  - ・若い男性は結婚をイメージしていない、女性は結婚願望を持っていた
  - ・イベントがあっても一人では参加しないと思った
    - ・婚活イベントではない、若い人が参加しやすいイベントが良いと思った
  - ・行政に頼る前に自分自身でできることがあるのではないかと思った
  - ・女性は結婚に対して深く考えているが、男性はあまり考えていないと思った
  - ・予想以上にいろいろな意見を聞くことができた
  - ・地域の若い人たちが安心して交流できる場が求められている印象を持った

- ・女性の方が結婚に対しての意識や考えが深いと思っていたが、意外と男性も考えていた
- ・相手や行政に求めることの前に、自分を振り返ってみる機会になった
- ・既婚者の意見を聞いて、言いたいことを言い合える関係が理想だと思った
- ・男性は女性と違う視点で考えていることを知ることができた

○実行委員として本調査に参加し、結婚に対する具体的なイメージができたか？

- ・結婚が現実味のある意識に変わった
- ・いい意見を聞くことができたので参考にしたい
- ・余裕ができてきたので結婚しなくてもいいというイメージは変わらず
- ・自分なりに結婚できるように頑張っていきたい
- ・何となく結婚したいと思っていたが、より明確に意識し現実味を帯びてきた
- ・結婚したいと思っていたので、ますます結婚したくなった
- ・不安があったが、既婚者の意見を聞いて刺激を受けた
- ・結婚願望は強くないがイメージができた
- ・結婚したいと思える時のイメージができた
- ・いろいろな意見を聞いて結婚というものが分らなくなってきた
- ・いろいろな意見を聞いて、今後は積極的に動いていこうと思った
- ・結婚しなくてもいいかと思っていたが、あと3年頑張ってみたいと思った
- ・自分自身の結婚に対しての考えが、よく分からなくなった
- ・調査前も後も、結婚の準備を進めていきたいという考えは変わらなかった
- ・調査前は結婚したいと思っていたが、すぐには結婚しなくてもいいと考えるようになった
- ・もっといろいろな人と関わりを持っていきたいと思った

※実行委員の多くは、本調査事業への参加を通じて何らかの形で結婚に対する具体的なイメージを持ったようであるが、そのイメージは結婚することに向けたイメージばかりではなく、すぐには結婚しなくてもいい、結婚に対してよく分からなくなったといった意見もあった。

- 【 総 括 】
- 未婚者からの意見としては「できれば結婚したい」「自分の自由な時間がとれなくなるのが不安」「出会いの機会がない」といった結婚や出会いに対して比較的消極的方向を向いた意見が多かったように思われる。
  - 未婚者は、特に20歳台の方については、結婚に対して「憧れ」や「漠然としたイメージ」がある程度だったものが、本調査に参加して「結婚のことが具体化し、刺激になった」「他の意見を聞いて安心したり、参考になったりした」「異性の考え方を聞くことができてよかった」「きちんと考えるきっかけになった」「生の声を聞くことができてよかった」「結婚したいと思えてきた」といった前向きな意見や感想を述べていた。
  - 本調査での意見を聞いて、「出会いの機会」の必要性はあるが、未婚者自身の意識の変化及びそのための環境づくりが必要ではないかと感じた。  
そうした意味では、本調査事業が意識の変化に役立った面があると考えられる。

# 若者の結婚に関する意識アンケート調査

## 報 告 書

## 若者の結婚に関する意識アンケート調査 報告書

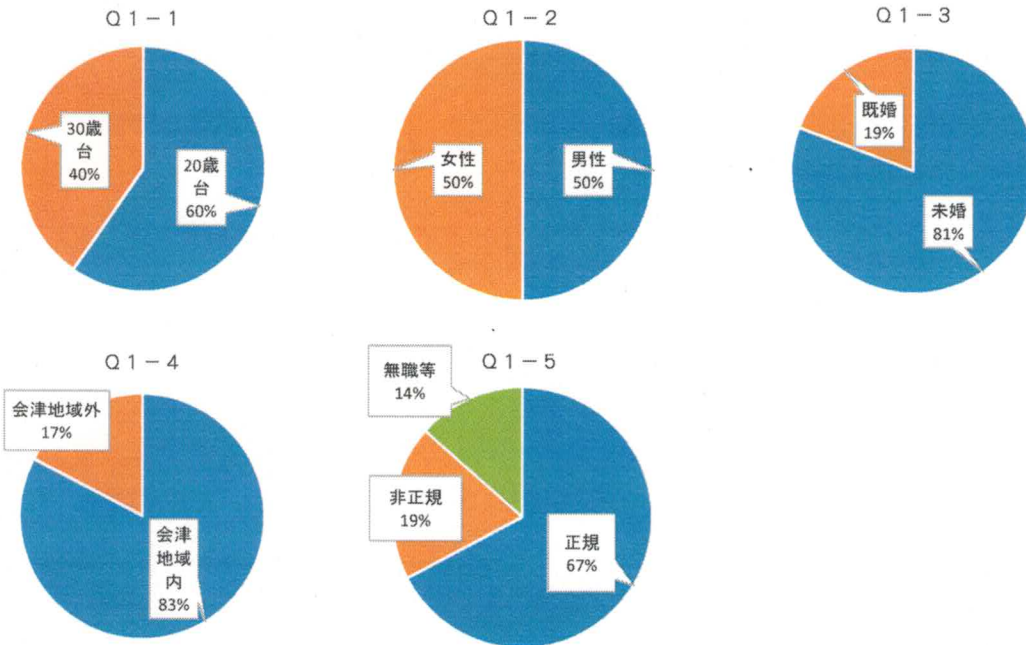
- 【調査概要】
1. 対象者数 勤労青少年ホーム利用登録者及び来館者の20歳から39歳までが対象  
合計60名に対して実施
  2. 回答者数 52名（回収率 86.7%）
  3. 調査時期 平成29年8月1日（火）から8月18日（金）まで
  4. 調査方法 アンケート用紙に記入し、アンケート回収箱へ投函する方法による

【調査結果】

<全ての方に>

Q1 あなたのことについて、当てはまるものをお選びください。（それぞれに○は1つ）

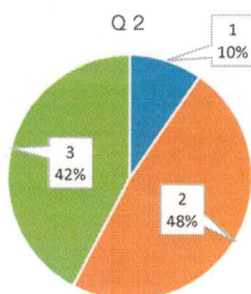
- |      |       |   |       |   |        |   |               |
|------|-------|---|-------|---|--------|---|---------------|
| Q1-1 | 年齢は？  | 1 | 20歳台  | 2 | 30歳台   |   |               |
| Q1-2 | 性別は？  | 1 | 男性    | 2 | 女性     |   |               |
| Q1-3 | 結婚は？  | 1 | 未婚    | 2 | 既婚     |   |               |
| Q1-4 | 出身地は？ | 1 | 会津地域内 | 2 | 会津地域以外 |   |               |
| Q1-5 | 雇用形態は | 1 | 正規雇用  | 2 | 非正規雇用  | 3 | 無職(学生・家事従事含む) |



<全ての方に>

Q2 あなたは、結婚について一般論としてどのようにお考えですか。最もよく当てはまるものをお選びください。（○は1つ）

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 必ずしたほうが良い   | 3 無理してしなくても良い |
| 2 できればしたほうが良い | 4 しなくて良い      |



「結婚をしたほうが良い」と考えているのは（回答1及び2）52名中30名（58%）である一方、「結婚をしなくても良い」と考えているのは（回答3及び4）22名（42%）であった。なお「結婚をしなくて良い」と回答した者はいなかった。

<平成26年度 内閣府による調査結果>

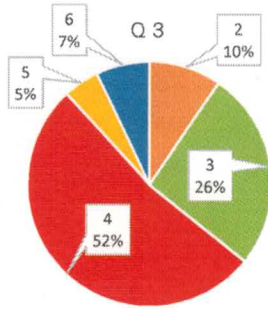
1 : 14.0%    2 : 54.1%    3 : 29.3%    4 : 1.7%  
1+2=68.1%    3+4=31.0%



<全ての方に>

Q3 あなたは、あなたご自身の結婚について、どのように考えていますか。最もよく当てはまるものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 すでに結婚している
- 2 すぐにも結婚したい
- 3 2-3年以内に結婚したい
- 4 いずれは結婚したい
- 5 結婚するつもりはない
- 6 わからない



「すでに結婚している」10名はグラフからは除外している。  
 「結婚したい」と考えているのは(回答2、3及び4)  
 42名中37名(88%)である一方、  
 「結婚するつもりはない」と考えているのは(回答5)  
 2名(5%)であった。  
 なお「わからない」と回答した者は3名だった。

<平成26年度 内閣府による調査結果>

2 : 9.2%    3 : 21.5%    4 : 47.0%  
 5 : 7.0%    6 : 15.0%  
 2+3+4 = 77.7%

<Q3で「1~4」(すでに結婚している、将来結婚したい)とお答えの方に>

Q4 結婚相手に望むことは何ですか(何でしたか)。当てはまるもの全てをお選びください。(〇はいくつでも)

- 1 価値観が近いこと
- 2 家事分担
- 3 家事や家計をまかせられること
- 4 恋愛感情
- 5 共通の趣味があること
- 6 職種
- 7 学歴
- 8 金銭感覚
- 9 一緒にいて楽しいこと
- 10 一緒にいて気をつかわないこと
- 11 容姿が好みであること
- 12 経済力があること
- 13 親が同意してくれること
- 14 年齢
- 15 自分の仕事を理解してくれること
- 16 自分の親と同居してくれること
- 17 その他  
(具体的に)

(Q3で「2~4」の回答者のみで集計)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
会津	67.6	27.0	24.3	43.2	24.3	16.2	5.4	37.8	75.7	67.6	37.8	40.5	32.4	0.0	35.1	5.4	5.4
全国	75.6	23.0	19.0	40.9	31.1	10.8	7.1	47.4	74.5	73.5	30.9	32.1	25.8	15.1	34.5	3.7	2.5

全体では、「一緒にいて楽しいこと」(75.7%)が最も高く、次いで「価値観が近いこと」、  
 「一緒にいて気をつかわないこと」(ともに67.6%)が高い。

<平成26年度 内閣府による調査結果>と比較すると、全体的な傾向としては近いものとなった。

特に、回答1、5、8、10、14については全国調査の方が高く、回答3、6、11、12、13は本調査の方が高かった。

「その他」としては、「食の好み」「一緒にいて安心できる」という回答があった。

<全ての方に>

Q5 結婚生活を送っていく上で不安に思っていること(思ったこと)は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。※結婚するつもりがない方は、結婚すると仮定してお答えください。(〇はいくつでも)

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 1 配偶者と心が通わなくなる・不仲になること | 8 自分の自由時間がとれなくなる |
| 2 配偶者との家事分担            | 9 出産・子育て         |
| 3 配偶者の親族とのつきあい         | 10 子供の教育やしつけ     |
| 4 配偶者や自分の親の介護          | 11 子供が授かるか       |
| 5 経済的に十分な生活ができるかどうか    | 12 その他           |
| 6 今までの仕事が続けられるか        | (具体的に            |
| 7 収入や仕事が安定しない          | 13 わからない         |

(未婚者のみで集計)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
会津	52.4	19.0	47.6	23.8	47.6	14.3	28.6	31.0	45.2	35.7	16.7	0.0	4.8
全国	57.1	13.7	46.6	30.1	56.5	13.6	23.0	37.6	33.4	30.5	22.6	1.1	4.0

全体では、「配偶者と心が通わなくなる・不仲になること」(52.4%)が最も高く、次いで「配偶者の親族とのつきあい」、「経済的に十分な生活ができるかどうか」(ともに47.6%)が高い。<平成26年度 内閣府による調査結果>と比較すると、全体的な傾向としては近いものとなった。特に、回答1、4、5、8、11については全国調査の方が高く、回答2、7、9、10は本調査の方が高かった。

<全ての方に>

Q6 結婚生活をスタートさせるにあたって必要だと思う夫婦の年収(税込み)は、どのくらいだとお考えですか。※既婚の方は、結婚時の夫婦の年収でお答えください。(〇は1つ)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 100万円未満       | 7 600万円～800万円未満  |
| 2 100万円～200万円未満 | 8 800万円～1000万円未満 |
| 3 200万円～300万円未満 | 9 1000万円以上       |
| 4 300万円～400万円未満 | 10 収入は関係ない       |
| 5 400万円～500万円未満 | 11 わからない         |
| 6 500万円～600万円未満 |                  |

(全回答者で集計)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
会津	1.9	3.8	3.8	19.2	13.5	13.5	19.2	7.7	0.0	5.8	11.5
全国	0.1	1.3	6.6	19.8	23.2	20.8	12.8	2.8	1.2	2.9	7.5

全体では、「300万円～400万円未満」、「600万円～800万円未満」(ともに19.2%)が最も高く、次いで「400万円～500万円未満」、「500万円～600万円未満」(ともに13.5%)が高い。<平成26年度 内閣府による調査結果>と比較すると、全体的な傾向としては近いものとなった。しかし、「600万円～800万円未満」、「800万円～1000万円未満」という高額な回答が本調査の方が高かった。

<未婚の方（現在配偶者はおらず、今まで結婚したことはない方）に>

Q7 あなたが現在結婚していない理由を教えてください。当てはまるものを全てお選びください。（〇はいくつでも）

- 1 適当な相手にめぐり合わないから
- 2 自由や気楽さを失いたくないから
- 3 結婚後の生活資金が足りないと思うから
- 4 雇用が安定していないから
- 5 結婚の必要性を感じないから
- 6 結婚資金が足りないから
- 7 趣味や娯楽を楽しみたいから
- 8 異性とうまくつきあえないから
- 9 まだ若すぎるから
- 10 仕事が忙しすぎるから
- 11 仕事を優先したいから
- 12 住宅のめどが立たないから
- 13 親や周囲が同意しないから
- 14 結婚するつもりはないから
- 15 その他

（具体的に

（未婚者のみ回答対象，全回答者で集計）

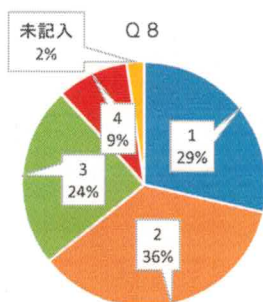
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
会津	71.4	19.0	16.7	9.5	9.5	11.9	16.7	26.2	11.9	9.5	7.1	4.8	0.0	4.8	0.0
全国	54.3	27.2	26.9	17.4	17.0	18.5	23.7	18.3	24.2	12.4	10.4	3.3	2.0	10.0	7.1

全体では、「適当な相手にめぐり合わないから」（71.4%）が最も高く、次いで「異性とうまくつきあえないから」（26.2%）、「自由や気楽さを失いたくないから」（19.0%）が高い。  
 <平成26年度 内閣府による調査結果>と比較すると、回答1～9で全国調査と本調査の比率の差が非常に大きく、傾向の違いが目立つ部分もある結果となった。

<未婚の方（現在配偶者はおらず、今まで結婚したことはない方）に>

Q8 今後、結婚相手にめぐり合う可能性について、どのようにお考えですか。（〇は1つ）

- 1 必ずあると思う
- 2 どちらかといえばあると思う
- 3 どちらかといえば難しいと思う
- 4 かなり難しいと思う



「あると思う」と考えているのは（回答1及び2）42名中27名（65%）である一方、「難しいと思う」と考えているのは（回答3及び4）14名（33%）であった。  
 なお、無回答が1名だった。

<平成26年度 内閣府による調査結果>

1 : 25.7%    2 : 35.7%    3 : 24.0%    4 : 12.9%  
 1+2 = 61.4%    3+4 = 36.9%

<未婚の方（現在配偶者はおらず、今まで結婚したことはない方）に>

Q9 今後、適当な相手にめぐり合わない場合、あなたはどのようにしたいと思いますか。あなたがとるであろう対応として、当てはまるものを全てお選びください。（〇はいくつでも）

- 1 結婚相手に求める条件を譲歩・変更する
- 2 いろいろな方法を使って、結婚相手を探す
- 3 いままで対象外だった人たちも含めて結婚相手を探す
- 4 その他（具体的に
- 5 無理に結婚することはしない
- 6 特に何もしない

（未婚者のみ回答対象，全回答者で集計）

	1	2	3	4	5	6
会津	23.8	54.8	11.9	0.0	38.1	4.8
全国	17.5	29.5	11.9	0.7	41.3	13.7

全体では、「いろいろな方法を使って、結婚相手を探す」（54.8%）が最も高く、次いで「無理に結婚することはしない」（38.1%）が高い。  
 <平成26年度 内閣府による調査結果>と比較すると、上位2回答は順位の違いのみで同じ回答ではあったが、特に回答2では比率の高さに大きな差があった。

<Q9で1～4とお答えの方に>

Q10 あなたは、何歳くらいまでに結婚していなかったら、結婚に向けた積極的な対応をとると思いますか。  
(数字でお答えください)

(回答対象の全回答者で集計)

	24歳以下	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45歳以上	無回答
会津	0.0	23.7	36.8	21.1	0.0	2.6	15.8
全国	0.4	24.1	42.6	22.9	8.3	1.3	0.4

全体では、「30-34歳」(36.8%)が最も高く、<平成26年度 内閣府による調査結果>と比較すると、ほぼ同じ傾向ではあったが、本調査では「無回答」が非常に高かった。

<全ての方に>

Q11 あなたは、出会いの機会としてどのような形を望みますか。(〇はいくつでも)

※既婚の方は、配偶者との出会いの機会がどういう形だったかお答えください。(〇は1つ)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 職場や仕事を通じて      | 7 行政等主催の婚活イベント   |
| 2 友人・知人などからの紹介   | 8 趣味の集まり         |
| 3 お見合い           | 9 結婚紹介所等の紹介      |
| 4 昔からの知り合い       | 10 インターネットなどを通じて |
| 5 友人・知人など主催の合コン等 | 11 その他           |
| 6 民間主催の婚活イベント    | (具体的に )          |

(未婚者のみで集計)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
38.1	73.8	4.8	26.2	35.7	14.3	14.3	52.4	7.1	4.8	4.8

全体では、「友人・知人などからの紹介」(73.8%)が最も高く、次いで「趣味の集まり」(52.4%)が高く、対象者の半数以上が回答している。その他は「求めている」、「その時の自分にまかせる」という回答だった。なお、この設問は、<平成26年度 内閣府による調査結果>にはない独自の設問である。

<全ての方に>

Q12 会津若松市の成婚数増加に向けて効果的と思われる取組、支援制度は？(自由記入)

- ・未婚者向けのイベントを何種類かやる  
(20歳台 男性 未婚)
- ・出会いの場を増やす  
(20歳台 男性 未婚)
- ・婚活パーティーやイベントを増やす  
(30歳台 男性 未婚)
- ・企業誘致  
(30歳台 男性 未婚)
- ・積極的な婚活イベントなど  
(30歳台 男性 未婚)
- ・なにかしらのコミュニティへの参加をさせる取り組み  
コミュニティの支援  
(30歳台 男性 既婚)
- ・安い価格での婚活パーティー  
(30歳台 男性 既婚)
- ・合コンイベント開催等、出会いの場を増やす  
(土日以外や、〇〇限定なども)  
(20歳台 女性 未婚)

- ・結婚式の費用の負担 or 支援と多人数でも式を挙げられる式場の増設  
(20歳台 女性 未婚)

- ・経済的な安定 (正社員)
- ・休日、有給休暇の安定
- ・住宅 最初はアパート、その後子どもが増えたら一軒家に移ることができれば
- ・映画館などの交流の場

(30歳台 女性 未婚)

- ・行政が無理に成婚数増加のための取り組みをすることはないと思う
- ・非正規で結婚するのは経済的に難しい
- ・若者の生活を豊かにすることが先決では？

(30歳台 女性 未婚)

- ・婚活イベント
- ・子育て支援

(30歳台 女性 未婚)

- ・街コンをやったとしても、話せる人は話すし、話せない人は話せず終わってしまう事がきっと多いと思うので、うまく全員とまんべんなく話せるように、ローテーションの声掛けを主催者側がもっとサポートすれば、もしかしたら発展があるかもしれないと思います  
都会の街コンは福島と違って、出会いが生まれそうな街コンでした

(20歳台 女性 既婚)

- ・結婚後の手当てをいろいろつける  
例えば、引っ越し代金がでる。子供生まれたら1人目から祝金  
もらえる等、4つくらい手当てをつける

(30歳台 女性 既婚)

- ・婚活パーティーをねばり強く行い続ける  
(行くのが当たり前な文化をつくる)
- ・出会いの場をつくる

(30歳台 女性 既婚)

- ・飲み会

(30歳台 女性 既婚)

若者の結婚支援に関する  
企業・団体等の取組状況等調査

報告書

## 若者の結婚支援に関する企業・団体等の取組状況等調査 報告書

- 【 調査概要 】
1. 調査対象 会津若松市内の企業・団体等30事業所
  2. 回答者 主に各企業・団体の代表者・事務局責任者・総務関係担当者が回答
  3. 調査時期 平成29年7月27日（木）から9月13日（水）まで
  4. 調査方法 電話または面接による聞き取り調査

### 【 調査結果 】

Q1 企業・団体として、従業員や構成員を主対象とした「若者の結婚支援」に関して、何らかの取組をしているか？  
（または、過去に取り組んだ実績はあるか？）

- 企業のほとんどでは、「若者の結婚支援」に関して取り組んだ実績は無い。
- 取組の無い理由として「個人の問題なので強制できない」「パワハラになる」という意見が多く聞かれた。
- 一部の企業では、従業員がいわゆる「婚活イベント」に参加する場合、参加費の全部または一部を補助するという内容で支援している。また、今後イベント参加の支援を検討したいという企業もあった。
- 「婚活イベント」は土曜日や日曜日の開催が多いが、そうしたイベントに参加する従業員の有給休暇を取得しやすい環境整備をしているという企業もあった。
- 経済団体・業界団体では、その構成員を主な対象とした「婚活イベント」を実施している。しかし1団体では、負担が大きいかかわらず成果があまり無いといった理由から、現在は実施していない。また、他地区の同種団体で実施している「婚活イベント」を参考に取組をしたいと考えているが、運営主体となる青年組織が機能せず実施できないという団体もあった。
- 従業員に「婚活イベント」を紹介し20歳代の女性従業員が参加したが、男性の年齢層が高かったり再婚希望者があったりという状況で、参加した女性がショックを受けたという例があった。
- 任意で活動しているスポーツ愛好者の団体では、団体内で定期的に「婚活イベント」を実施し、これまでも成果を上げており、今後も継続していくという団体があった。

Q2 企業・団体として、広く一般を対象とした「若者の結婚支援」に関して、何らかの取組をしているか？  
（または、過去に取り組んだ実績はあるか？）

- 上記Q1において「婚活イベント」を実施している団体が、その対象者の一部（例：男性は団体の構成員、女性は広く一般から募集）を広く一般を対象に募集している以外に取組をしている実績は無かった。

Q3 企業・団体として、従業員等が結婚した場合にお祝金等を給付する制度を設けているか？

- 企業においては、ほぼ全ての企業において結婚に際してのお祝金を給付している。  
（一般財団法人会津若松市勤労者福祉サービスセンターが運営する「あしすと」からの祝金、企業からの祝金、従業員互助組織等からの祝金、加盟する業界団体等の共済制度からの祝金等）

Q4 会津若松市として「若者の結婚支援」に取り組んでいく場合、こういった取組や支援制度を求めていきたいか？

- 主に、企業・団体の代表者または総務・福利厚生部門の担当者といった方々から意見をいただいた。

- 出会いの場、出会いの機会・イベント等の創出
  - ・出会いの場や出会いの機会を作ってもらうのが第一ではないか
  - ・出会いの場を設けてあげたいが、企業側では案内やアドバイスしかできない
  - ・出会いの機会に出てこない人が多いことへの対策として、そうした機会を増やしていく
  - ・若者が少なくなっており、集まる機会が少なくなっていると思う  
そのような中、イベントがあっても参加しにくいいため、気軽に参加できる工夫が必要
  - ・若者が集まるイベント等や企業等を市が支援する姿勢が足りない  
開催を決めたら実行し、途中で止めることなく、問題が発生してもしっかりと解決に取組み実行する  
一度で終わらせずに継続すること
  - ・若者を中心に多くの企業が参加するイベントの開催（例：企業対抗運動会）
  - ・音楽フェス等を開催し、若者がその運営に中心となる

- ・未婚者が多く集まるイベントの開催
- ・女性の意識の変化に対応したイベントが必要
- ・飲食店等の協力により、「女子会」のようなイメージで「独身者プラン」を提供してもらい、飲食店に対しては市が資金的な支援をする
- ・趣味等をテーマにした独身者の集いを開催する「〇〇を楽しもう 独身の会」  
(例：会津の地酒を楽しもう 独身の会、磐梯山に登ろう 独身の会)
- ・市主催での婚活パーティーをリーズナブルな会費で開催する
- ・テレビの婚活イベント番組を活用する
- ・若者が楽しく自然に付き合えるようなコミュニティーをたくさん作る
- ・田舎に移住して・Uターンして・Iターンして結婚しようという趣旨のイベント
- ・婚活イベントの情報を目にする事ができるように、情報が行き届く工夫をしてほしい

#### ○娯楽施設や商業施設等の整備

- ・若者がデートする場所、遊ぶ場所、集まる場所が無い  
そういった場所を作ってもらいたい
- ・家族が遊べる環境づくり
- ・若者が定着するための対策として、若者や子供の遊び場が必要
- ・雪国であることを考慮した全天候型の娯楽施設や商業施設が必要

#### ○若者の生活の安定

- ・若者が結婚して生活ができる企業誘致
- ・若者がUターンできる環境づくり
- ・若い女性社員を採用して、職場を明るく華やかにできる環境づくり
- ・若者が正社員として働ける環境を整える
- ・若者が余暇を楽しめる環境づくり
- ・若者が余暇で知り合い、結婚できるといった環境を企業が整えられる経済状況
- ・男性にとっては、収入がないと結婚に踏み切ることが出来ない現状がある
- ・非正規対策より、若者が生活できる対策が必要
- ・若者の定着や労働環境が整えば、結婚もするのではないか

#### ○経済的支援制度

- ・行政の取組を通じて結婚したカップルへの祝金給付
- ・若者が住みやすいための住宅応援

#### ○更に年齢が高い人の結婚支援

- ・45歳以上の独身女性はあきらめムードで、男性は対象外になってしまう
- ・40歳以上の方への結婚支援も必要

#### ○勤労青少年ホームの利活用

- ・若者の出会いの場の拡大・拡充として、予算面も含め勤労青少年ホーム事業の充実が必要
- ・公共施設である勤労青少年ホームを幅広い出会いの場・機会として活用し、勤労青少年ホームから誕生したカップルには結婚資金を支援する
- ・出会いの場として勤労青少年ホームを活用していく

#### ○その他

- ・従業員の福利厚生や結婚・子育て支援をしている優良企業を表彰する
- ・通常の会議形式ではなく、ざっくばらんにいろいろな人からアイデアを聞く機会が必要
- ・幼児期からの教育(道徳)が大切  
学校教育の中で「労働」や「結婚」について教えることが大切  
→教育にお金をかけてほしい
- ・ニート・フリーター対策や婚活事業といった目の前の問題の対策と、これから10年後20年後を見据えた今の子供達への対策(教育)の2本柱で会津の未来を考えてほしい